

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【公開番号】 特開2011-80093(P2011-80093A)

【公開日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【年通号数】 公開・登録公報2011-016

【出願番号】 特願2011-16662(P2011-16662)

【國際特許分類】

C O 8 G 63/91 (2006.01)

C O 8 G 18/42 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 63/91

C 0 8 G 18/42 A

【手續補正書】

【提出日】平成23年2月23日(2011.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】 変更

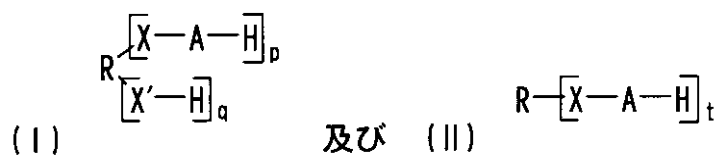
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I) 及び (II) :

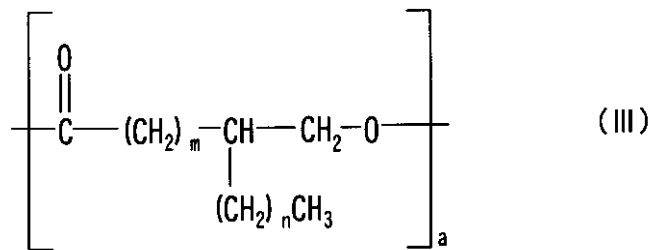
【化 1】



〔式中、Rはポリオール、ポリアミン又はアミノアルコール開始剤の残基であり、該開始剤のアミン又はアルコール基の少なくとも一つがアルコキシ化剤と反応されて、該開始剤の数平均分子量が少なくとも625とされており、

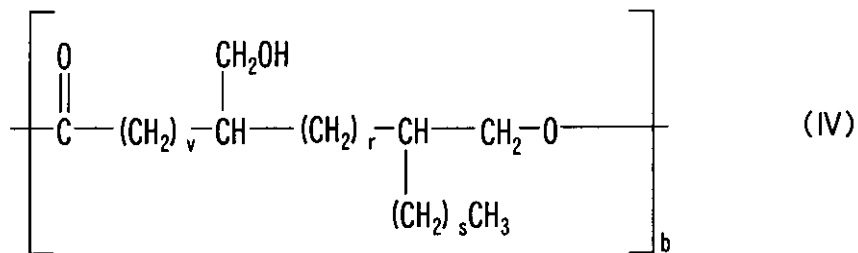
X 及び X' は、同じか又は異なっていてよく、そして O、N 又は NH であり、p は 1 ～ 5 の整数であり、q は 1 ～ 5 の整数であり（但し、p + q は 2 ～ 8 である）、t は 2 ～ 8 の整数であり、そして A は、同じか又は異なっていてよく、そして A 1、A 2 及び A 3 を含み、ここで、A 1 は式 (III)：

【化 2】



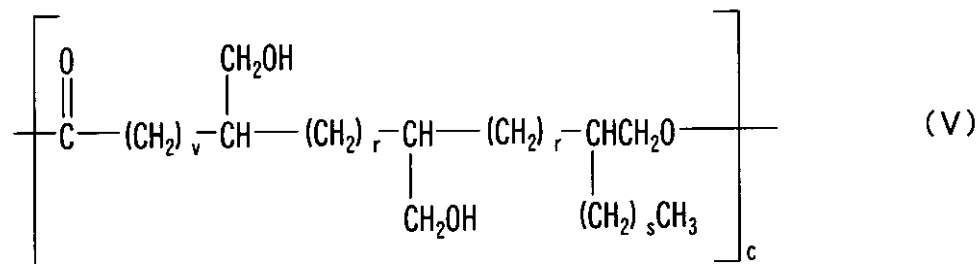
であり、A 2 は式 (IV) :

【化 3】



であり、A 3 は式 (V) :

【化 4】



(式中、m、n、v、r、s、a、b 及び c は整数であり、m は 3 よりも大きく、n はゼロ又はそれ以上でありそして m + n は 11 ~ 19 であり、v は 3 よりも大きく、r はゼロ以上であり、s はゼロ又はそれ以上でありそして v + r + s は 10 ~ 18 であり、a は 0 より大きく 35 以下であり、b は 0 より大きく 35 以下であり、そして c は 0 より大きく 35 以下であるが、A 3 の量は植物油系ポリオール of の少なくとも 0.05 重量%であり、そして植物油系ポリオール中において (a + b + c) / (p + q + t) は 0 よりも大きく 100 までである)

である]

を含んでなる植物油系ポリオール。

【請求項 2】

(a + b + c) / (p + q + t) が 0.5 ~ 50 である請求項 1 に記載の植物油系ポリオール。

【請求項 3】

$(a + b + c) / (p + q + t)$ が 1 ～ 25 である請求項 2 に記載の植物油系ポリオール。

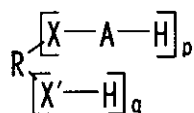
【請求項 4】

開始剤が第二級ヒドロキシル基を有する請求項 1 に記載の植物油系ポリオール。

【請求項 5】

植物油系ポリオールの少なくとも一部が、構造：

【化 5】



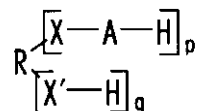
(式中、少なくとも 1 個の $\text{X}'-\text{H}$ 基は第一級ヒドロキシル又は第一級アミンであり、そして少なくとも 1 個の $\text{X}-\text{A}-\text{H}$ は開始剤の第二級ヒドロキシル又は第二級アミンに対応する位置に配置されている)

を有する請求項 1 に記載の植物油系ポリオール。

【請求項 6】

植物油系ポリオールの少なくとも一部が、構造

【化 6】



(式中、 $\text{X}'-\text{H}$ 基の全ては第一級ヒドロキシル又は第一級アミンであり、そして $\text{X}-\text{A}-\text{H}$ 基の全ては開始剤の第二級ヒドロキシル又は第二級アミンに対応する位置に配置されている)

を有する請求項 5 に記載の植物油系ポリオール。

【請求項 7】

開始剤がグリセロールであり、前記グリセロールのアルコール基の少なくとも 1 個がエチレンオキシド又はプロピレンオキシドと反応されている請求項 6 に記載の植物油系ポリオール。

【請求項 8】

開始剤がネオペンチルグリコール、1, 4-シクロヘキサンジオール、2, 5-ヘキサンジオール、1, 6-ヘキサンジオール、1, 2-プロピレングリコール、トリメチロールプロパン、ペンタエリスリトール、ソルビトール、スクロース、グリセロール、1, 6-ヘキサンジオール、1, 4-ブタンジオール、エチレングリコール、ジエチレングリコール、トリエチレングリコール、ビス-3-アミノプロピルメチルアミン、エチレンジアミン、ジエチレントリアミン、9 (1)-ヒドロキシメチルオクタデカノール、1, 4-ビスヒドロキシメチルシクロヘキサン、8, 8-ビス(ヒドロキシメチル)トリシクロ[5, 2, 1, 0^{2,6}]デセン、ジメロールアルコール、水素化ビスフェノール、9, 9 (10, 10)-ビスヒドロキシメチルオクタデカノール、1, 2, 6-ヘキサントリオール、その中に存在するアルコール又はアミン基の少なくとも 1 個が、エチレンオキシド、プロピレンオキシド又はこれらの混合物と反応している上記のもののいずれか及びこれらの組合せからなる群から選択される請求項 1 に記載の植物油系ポリオール。

【請求項 9】

植物油系ポリオールが液体であり、そして少なくとも1500の重量平均分子量を有する請求項1に記載の植物油系ポリオール。

【請求項10】

重量平均分子量が少なくとも1800である請求項9に記載の植物油系ポリオール。

【請求項11】

ポリイソシアネートと請求項1に記載の植物系ポリオールとの反応生成物を含むポリウレタン。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0082

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0082】

例1～27：植物油系脂肪酸メチルエステルからのポリオールの製造方法

大豆油のヒドロキシメチル化した脂肪酸メチルエステル及び9, (10) -ヒドロキシメチルステアレート（オレイン酸メチルから）を、前記の発明者Donald Morrison等を有する、同時に出願された特許出願、発明の名称「種子油から誘導されたアルデヒド及びアルコール組成物」、代理人ドケット番号第63104号（注：WO2004/096744に相当）に記載されている手順に従って製造する。